



The R&A
St Andrews, Fife
Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000
Fax: +44 (0) 1334 460152

www.randa.org
www.opengolf.com

2009年7月27日

クラブ製造業者 宛

溝の形状

はじめに

製造業者からの最近の提出物、特許文献、情報から、R&Aは2010年1月1日から発効する新しい溝の仕様の意図の裏をかくことになるかもしれない横断面や特徴が採用されることを防ぐために、認められる溝の形状はより明確に定義されるべきであると考えようになりました。この文書の目的は、仕様を満たした溝の形状のR&Aの解釈を明確に示すこと、また、追加的な要件を提案することです。

2010年溝の仕様の現在の解釈

溝はフェース平面から著しく逸脱するところから始まり、フェース平面は縁を経て溝の壁面につながります。壁面は溝の底まで続きます。

縁は実質的に円形状（2サークル法により決定される、0.010インチ以上、0.020インチ以下の有効半径を有する）でなければならず、溝の壁面とフェース平面が正接する円弧からなります。そのようなことから、「丸み」の端は縁の端と一致し、一方の端はフェース平面との結合を示し、もう一方の端は溝の壁面の始まりを示します。誤解を避けるために、このことは溝の縁は凸曲面でなければならず、鋸歯状の縁、ギヤの歯、あるいはその他の類似の特徴を含んではならないということを意味します。

R&Aは溝の縁の程度について定義する権利を有しています。面取り、平縁、刻み目などを含む（これらに限定されない）縁の形状は、円形状ではないので、規則に適合しません。製造のばらつきの結果として厳格には要件を満たしていない縁の部分に対して許容が認められるでしょうが、そうしたばらつきは最小限でなければならず、クラブの意図するデザインの一部であってはなりません。

追加的な要件案

R&Aは許容される溝の形状をより明確に定義するために、以下の2つの要件を導入することを提案します：

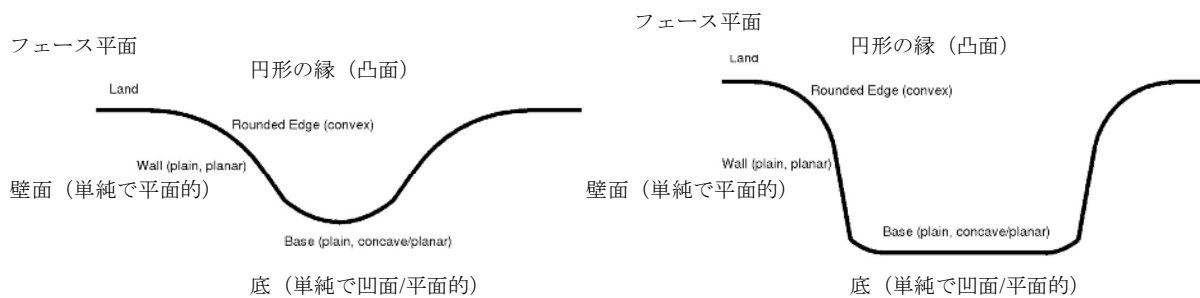
- (i) 溝の壁面は実質的に「単純」で「平面的」でなければなりません。このことは屈曲、壁面へのインデント（くぼみ）、あるいは壁面からの突出というような特徴を認めないこととなります。
- (ii) 溝の底面もまた実質的に「単純」でなければならず、相対する2つの溝の壁面に凹形状あるいは平面としてつながっていなければなりません。



The R&A
St Andrews, Fife
Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000
Fax: +44 (0) 1334 460152

www.randa.org
www.opengolf.com



許容される溝の実例

コメント

製造業者にはこの提案についてのコメントをできるだけ早急に、2009年8月31日までに提出することが要請されます。新しい溝の規則の意図はよく知られており、審査のために提出されている大部分のクラブがすでにこの追加的な要件を満たしていることから、R&Aはこの要件が2010年1月1日から導入されることになっている新しい仕様への実質的な追加要件とは考えていません。したがって、採用された場合、こうした追加要件は同日付けで発効となるでしょう。

緊急を要する質問がある場合、どうぞ私までご連絡ください。

DAVID RICKMAN
Director of Rules and Equipment Standards